曽我小学校
学校だより
地球っ子

【７月号】
令和２年７月１７日
小田原市立曽我小学校
発行者　椿　清一
ＴＥＬ　42-2278
曽我小ホームページ http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/soga_s/

家庭学習がんばり週間

６月29日(月)から７月５日(日)は『第１回家庭学習がんばり週間』でした。家庭学習の習慣化と学力の定着を図ることを目的とした全校での取り組みです。

実施状況を集約したところ、多くの児童が目標時間をクリアーすることができていました。取り組みの内容としては音読、漢字練習、計算、日記等学校から出された課題が多かったです。自分で考えて取り組む自主学習につながるよう、指導にあたってまいります。ご家庭のご協力も引き続きお願いいたします。

小田原市ではGIGAスクール構想の一環として、今年度内にインターネットを使って、各家庭のパソコンやタブレット等で学習課題を行うことができるシステムを導入予定です。児童の個人用端末のことも含め、詳細が決まりましたらお知らせします。

『第２回家庭学習がんばり週間』は、11月に実施する予定です。

学校運営協議会より

７月13日（月）10:00～曽我小の『学校運営協議会』を開催しました。

学校と保護者や地域の方々が力を合わせて学校の運営に取り組むことができる仕組みを『コミュニティ・スクール』といいます。コミュニティ・スクールには『学校運営協議会』が設置されます。そして、委員の皆さんは学校運営の基本方針を承認したり、学校運営に意見を述べることができます。

今回は学習の状況や、感染症対策などの報告を行ったあと、各学年の授業を参観していただきました。

６年生の授業では、給食やグループ学習のために制作してもらった『飛沫防止パーティション』を試しに使っているところも見ていただき、安全性や使用場面について、参考になるお話をいただきました。

参観後、委員の皆様に運動会等予定されている行事について、感染症対策下でどう実施していったらよいかを伺いました。委員の皆様からは「安全対策を最優先にしながら、大切な行事である運動会を開催してもらいたい。他の地域行事も多くが中止になっているように、安全面から来賓の招待は難しいと思うが、保護者の皆さんにはぜひ、行事を通して子どもの成長を見てもらえるよう対策を工夫してもらいたい。」というご意見をいただきました。

また、曽我小学校の稲作からの『学びの発展』について報告したところ、「二宮尊徳の捨苗」のエピソードを、社会科や道徳への発展題材として紹介していただきました。

【給食で試用中のパーティション】

広域避難所運営委員会より

７月７日（火）、曽我小学校パソコン室で広域避難所運営委員会が開催されました。

協議では、発熱等体調不良者や乳幼児、ペットへの対応についての課題を確認し、原案をさらに改善していくことになりました。

風水害等発生時に体調不良の方も〝最適な分散避難〟を検討しつつ、曽我小への避難が最適と判断された場合は、躊躇なく来てください。防災対策課の指示のもと、現在、感染対策等を配慮した活用スペースの割り振りを行っています。

避難されたときに具合が良くない方や、小さなお子さんを連れている方は、より一層不安な気持ちを抱えてやってきます。避難所開設時はどうしても多少の混乱は避けられませんが、弱い立場の方を思いやり、円滑な避難所運営にご協力ください。また、受け入れ場所の工夫などを行っていますのでペットの受け入れについてもご理解ください。

『記念樹』にクワガタがいるよ！

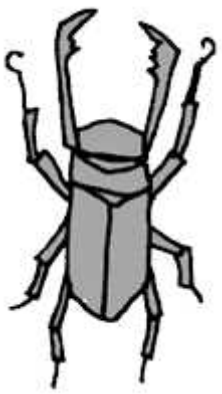
７月９日（木）登校時、たくさんの子ども達が、21年前の創立120周年で植えた記念樹『クヌギ』の下に集まって木のうえのほうを見ています。

すると一人の児童が「校長先生、木の上のほうにノコギリクワガタのオスとメスがいます！」と教えてくれました。

校長室にもどってから、創立記念の植樹としてクヌギはめずらしいと思ったので、日本植木協会のウェブサイトを調べると「いろいろな場面の記念樹にふさわしい木」という一覧表がありました。「創立記念日にふさわしい木」の欄をみると、ユズリハ、スギ、イチョウ、サクラ、ヒノキなど、いかにも創立記念にふさわしいイメージの樹木名がありました。どこかにクヌギは載っていないかな…と表を探すと、１つありました。クヌギはどんな植樹にふさわしいかというと、それは「子どもの成長を願う」時だそうです。「なるほど、だからクヌギを植えたのか」と納得しました。

しかし、「やはり校長としては正しい経緯を知ろう。」と思い、書棚から「開校百二十周年関係文書綴」という古いファイルをみつけました。記念樹について書いてあることがないか探すと、児童による手書きの「議題　開校120周年を盛り上げよう」という紙が出てきました。これは、全校児童に代表委員会で決まったことを知らせる内容で、120週年記念樹はなにが良いか、各クラスで話し合ってもらった結果も掲載されていました。「１年：どんぐりできる木　２年：クヌギ・曽我の果物・サクラ　３年：スギ　４年：どんぐりのできる木・シラカバ　５年：ウメ、ポプラ、サクラ　６年：ライラック、シイ」という案が出て、このなかで多かった「どんぐりができる木にしましょう」と代表委員が児童の意見をまとめたそうです。このことを先生方や地域の方に相談して、丸いどんぐりのできるクヌギに決めたようです。子ども達が意見を出して合って決めたのが事実だったんですね。

「クヌギがいい」という意見をだした当時の２年生の皆さんは、クヌギが樹液をたくさんだし、カブトムシやクワガタを呼ぶかも知れない木だと知っていたのでしょうか？生き物が大好きな子がたくさんいる曽我小の児童達は、21年前の子ども達が決めてくれたクヌギの記念樹に、またいろいろな虫が来ないかワクワクしています。次の日にもコクワガタが２匹来ていました。



【写真】昼休みにクワガタを採りにきた児童たち。
ノコギリクワガタをオスとメス１匹ずつつかまえました。それぞれを「何年生が飼うか？」決める時に、少しだけ悔しい思いをした子たちもいたようですが、次の日につかまえたコクワガタとの「取り替えっこ」で気持ちよく解決できたようです！

運動会の実施について
～規模を縮小し、10月3日(土)開催予定～

新型コロナウイルス感染拡大を受け、各小学校で運動会の開催について検討しています。

曽我小学校では、今後の感染状況に配慮しつつ、現時点では10月３日(土)、午前中のみの縮小開催に向け、準備を進めています。

児童の練習時間も十分確保できないことや、接触の多い種目はできません。『表現活動』をはじめとして、演じる子ども達も、見る大人達も楽しみにしていた競技・演目ができないことはとても残念です。

また、学校運営協議会の記事のように来賓のご招待や敬老席の設置を今年度は中止し、保護者の数も2名程度に制限する方向で検討しています。

マイナス面ばかりのご案内になりましたが、制限のなかでも子ども達がいきいき活動できるよう努力・工夫してまいります。

運動会の詳細は後日お知らせします。